

魯克^ル等の諸河とす。是等諸川は、其源を皆峻嶺幽谷に發するが故に上流部は急潭直瀉、或は斷崖に激し、或は絶壁に奔騰し來りて、自ら水勢甚だ急なるも、中流部、下流部に至りては、緩流沮洳、兩岸の淺汀概ね蘆荻を生せしむ。

一たび歩を天山南路に移し、眸を田圃の間に放てば、本道に沿ふ所、地として大規模の溝渠を開通せざるはなく、従ふて部落の附近に在ては、無數の小渠縦横に綜錯するを見ん。元來新疆は、伊犁を除くの外、涼荒不毛の戈壁帯ならざれば、蘆葦沮洳の沼澤地のみ。到底自然の儘にては、耕作に適すべきもの至つて少なし。故に人工を加へて自然を補ひ、不毛を化して沃土と爲し、以て今日の如き住民地を成形したるや知るべきなり。蓋し塔里木河の名稱は、回語「耕田」の義にて、即ち該河は、耕田灌溉の便を與ふるもの多きに因りて名づく。

流長は約三百八十里、終に羅布淖爾に注ぐ。此の如く長大なりと雖も、沿岸の土地概ね沙磧地にして、河水を吸收すること多きと兩岸無數の溝渠は、河水を漏泄すること甚しき爲め、其水量と水深とは、殆んど彼の中央亞細亞のシルダリヤ河及アマタリヤ河等にも及ぼす。下流は河幅百四十尺より三百七十尺に廣まり、水深七

塔里木河
と名稱